

## 2022年度の連携・協働活動の計画

### 【目次】

1. 2022年度の連携・協働活動の計画	P2
2. つばさ北小学校	P3
3. 桶川西高校	P4
4. 東京デザイン専門学校	P5
5. マーケットリサーチ	P6
6. エコプロ2022への参加に向けた対応方針	P9

# 1. 2022年度の連携・協働活動の計画

●現時点の活動予定は、下記の通りです。

- つばさ北小学校 : 校内および現地での環境学習を5月（実施済み）と10月に行う
- 桶川西高等学校 : イベントへの協力を要請する
- 東京デザイン専門学校 : ビジュアルデザイン科3年生（43名）第一期後半～第二期前半にリーフレット制作を行う

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
マーケット リサーチ		21日(木) : S財団	10日(火) : A社 18日(水) : S大 学			8~9月 : S財団協定式 (調整中)				3日(土) : S財団保 全活動(調整中) 7~9日 : エコプロ2022			
協働・ 連携	小学校 つばさ北		11日(水) : 環境学 習①					7日(金) : 環境 学習②					
	学校関係 桶川西高校	17日(日) 協議 会取組動画のナ レーション(放送 部) 29日(祝・金) かわしまはるかせ ワーク(科学 部)						1日(土) (予備 日)2日(日) 秋イベント : 科学 部・放送部協力依 頼(調整中)	23日(祝・水) : 川島町農業商工 祭				
	イ東京 学専デ 校門ザ		24日(火) : 事前打合せ	28日(火) : オ リエンテーショ ン	5日(火) : 現地視察 11日(月) 12日(火) : 意 見交換会			10月上旬 : プレゼンテーショ ン	11月中旬 : 表彰 式				
	NPO・ 民間企業 等	21日(木) : (株)サイザン新 人社員研修			11日(月) : 関 東・水と緑のネッ トワーク助成申請 ×切	15日(月) : 公 財サイザン環境保 全基金助成申請× 切							

## 2. つばさ北小学校

- 5月11日に実施した1回目の環境学習を受けて、2回目の環境学習を予定しています。
- 目的：地元のつばさ北小学校との連携協働による荒川流域の自然環境のネットワークの核となる太郎右衛門自然再生地の湿地環境を保全・再生することを目的とした荒川の草花の移植活動を行います。あわせて、幅広く広報を行いながら実施して、自然再生地の認知度拡大を狙います。
- 実施日：10月7日（金）8：45～12：00（予備日：10月11日（火）同時間）
- 内容：（学校）草花の植え替え作業、（現地）体験活動「水生生物観察」・「草花の移植作業」
- 移植植物：学校で育てた植物
- 広報：テレビ、ラジオ、新聞等のメディアへ情報提供を実施予定 ※自然再生地での活動は児童の保護者にも参加を呼びかけます
- 必要機材：移植する植物の苗（当日学校で準備）、ポット、スコップ、救急セット、ブルーシート

### 【スケジュール】

時刻（分）	内容
8:45(35)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■オリエンテーション（つばさ北小学校）                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・開会挨拶(2分)</li> <li>・本日の流れの説明(1分)</li> </ul> </li> <li>■草花の植え替え作業                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・植え替えの理由と方法の説明（2分）</li> <li>・5月に植えた植物の植え替え作業（25分）</li> <li>・自然再生地での体験活動についての説明（3分）</li> <li>・記念撮影（2分）</li> </ul> </li> </ul>
9:20(15)	トイレ休憩・教室からハツ保公民館へ移動
9:35(15)	バス移動（ハツ保公民館→中池駐車場）
9:50(10)	徒歩移動（駐車場→中池活動エリア）
10:00(50)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■体験活動①「水生生物観察」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に設置した仕掛けの回収</li> <li>・仕掛けに入った水生生物のうち、主だった種を解説</li> </ul> </li> </ul>
10:50(10)	休憩
11:00(30)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■体験活動②「草花の移植作業」                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・移植時の注意点の説明</li> <li>・学校から持参した植物の移植作業</li> </ul> </li> </ul>
11:30(5)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■記念撮影</li> <li>■閉会挨拶</li> </ul>
11:35(10)	徒歩移動（中池活動エリア→駐車場）
11:45(15)	バス移動（中池駐車場→ハツ保公民館）
12:00	ハツ保公民館到着

【対応者】協議会・事務局・運営事務局(3名)

【現地活動場所】



【学校で準備していただきたい物】

- ・汚れても良い服装、帽子、軍手、長靴、飲み物、移植ごて（児童全員分）

# 3. 桶川西高校

- 2022年度も引き続き、広報イベントを中心とした活動への参画を桶川西高校放送部・科学部へ依頼する予定です。
- また、長期的な視点で協議会の取組に継続して参画していただくために、科学部や放送部の顧問に協議会委員として参画いただくことを打診します。

## 桶川西高校 連携・協働による活動の目的：

- ・ 科学部の「出前水族館」は、アピール性が高く、これまでの広報イベント出展時に大きな集客力を得ることができました。その結果、一般ボランティア参加者の獲得につながった実績が出ています。
- ・ 放送部については、自然再生地の取組みを紹介する動画でナレーションを担当していただき、自然再生事業の広報物制作の担い手となっています。
- ・ 今後も継続的に科学部・放送部のそれぞれと連携することにより、より効果的な広報活動を行っていくことを目的とします。



【科学部】2021年10月23日  
秋イベント出展



【科学部】2022年4月29日  
かわじまはるかぜウォーク出展



【放送部】2021年10月23日  
秋イベント司会



【放送部】2022年4月17日  
取組動画のナレーション録音

## 【2022年度の依頼予定】

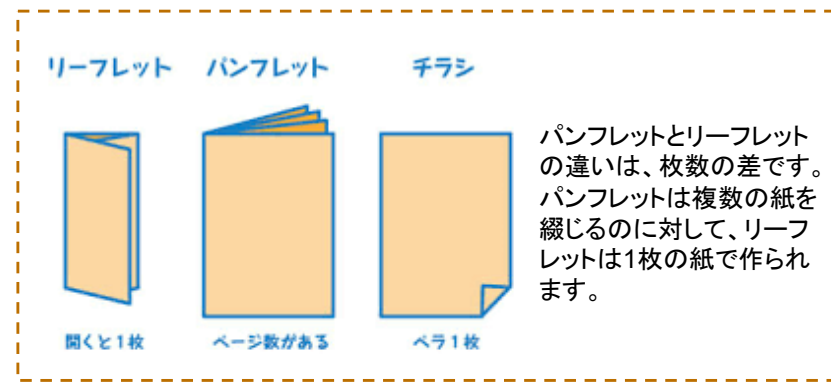
時期	内容
4月17日 (日) 【実施済み】	協議会取組紹介動画の制作 内容： ・ (放送部) ナレーション録音
4月29日 (金・祝) 【実施済み】	かわじまはるかぜウォーク 主催：川島町 内容： ・ (科学部) 出前水族館の展示
10月1日 (土) 【調整中】	秋イベント 主催：協議会or他団体 内容： ・ (科学部) 出前水族館の展示 ・ (放送部) 秋イベントの司会
11月23日 (水・祝)	川島町農業商工祭 主催：川島町 内容： ・ (科学部) 出前水族館の展示

# 4. 東京デザイン専門学校

●2022年度の連携講義は、ビジュアルデザイン科3年生（A組20名、B組23名）の第一期後半～第二期前半に、リーフレット制作を行います。

## ○基本方針

- ・ 自然再生地の認知度向上や、維持管理をはじめ協議会の諸活動への関心を高めることをプロジェクトの目的とする。
- ・ リーフレット制作は「中池に行ってみたいと思う」こと、「ボランティアや協議会メンバーへの参加を促す」ことを目標とする。
  - ✓ 「中池を知る → 関心を持つ → 価値を感じる → 利用する → 愛着を持つ」というプロセスの先に、自然再生地の認知向上、維持管理活動や協議会活動全体への理解がある。
  - ✓ 2種類の制作課題を設定し、各々の最優秀賞を採用案としてする。
  - ✓ 制作課題の企画はグループワーク、デザイン編集は個人ワークで取り組む。



## ○講義内容

- ・ 目的：デザインによる問題解決  
～デザインので「荒川太郎右衛門自然再生地」の価値を高める～
- ・ 課題：リーフレットの企画デザイン

## ○講義スケジュール（案）

年月	2022年6月		7月				8月	9月					10月			
週	3	4	1	2	3	4		1	2	3	4	5	1	2	3	4
講義		28日 合同オリ エンテー ション	5日 現地 視察	11・12日 意見交換 会	企画 (グループワーク)		夏休み	デザイン編集(個人ワーク)					プレゼン対象の 絞り込み/決定		●日 合同プレゼ ンテーション	

- ・ 6月28日（火）合同オリエンテーション 於：1号館イベントホール 1・2限（9:30-12:10）
- ・ 7月 5日（火）現地視察 JR樋川駅13:30集合、16：30解散予定 ※樋川駅と現地の移動は事務局でマイクロバスを確保
- ・ 7月11日（月）意見交換会（グループワーク）13:10-15:50
- ・ 7月12日（火）意見交換会（グループワーク）13:10-15:50
- ・ 9月末 提出〆切
- ・ 10月上旬 課題評価/プレゼン対象の絞り込み（TDA） → プレゼン対象の決定（協議会）
- ・ 10月中旬 合同プレゼンテーション 於：1号館イベントホール
- ・ 11月上旬 評価結果報告&表彰式（合同）
- ・ 11月中～下旬 採用案の修正作業

## 5. マーケットリサーチ

# 5. マーケットリサーチの協議状況（1）

●マーケットリサーチの協議状況について報告します。

- S財団 : 「埼玉Sの森」について川島町及び上尾市、桶川市と協議を継続中
- A社 : 間伐材が主原料のタンブラーを活用した取組について協議を継続中
- S大学 : 4月以降対面授業を完全に再開したため、ボランティアセンターで協議会の取組を紹介しているが反応はない
- エコプロ2022 : 12月7日～9日に東京ビッグサイトで開催予定。新規の連携・協働先の獲得に向けて参加予定

※SDGsに関する意見交換の場が増えていることから、下記予定に限らず随時マーケットリサーチによる情報収集を行います

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
マーケットリサーチ	21日(木) : ・S財団	10日(火) : A社 18日(水) : S大 学				8~9月 : S財団協定式 (調整中)				3日(土) : S財団保 全活動(調整中) 7~9日 : エコプロ2022		
協働・連携	つばさ北 小学校	11日(水) : 環境学 習①					7日(金) : 環境 学習②					
	桶川西高校	17日(日) 協議 会取組動画のナ レーション(放送 部) 29日(祝・金) かわしまはるかせ フオーク(科学 部)					1日(土)(予備 日)2日(日) 秋イベント : 科学 部・放送部協力依 頼(調整中)	23日(祝・水) : 川島町農業商工 祭				
	イ東京 学専テ 校門サ	24日(火) : 事前打合せ	28日(火) : オ リエンテーショ ン	5日(火) : 現地視察 11日(月) 12日(火) : 意 見交換会			10月中旬 : プレゼンテーショ ン	11月上旬 : 表彰 式				
	NPO・ 民間企業 等	21日(木) : (株)サイサン新 人社員研修			11日(月) : 関 東・水と緑のネッ トワーク助成申請 ×切	15日(月) : (公 財)サイサン環境保 全基金助成申請× 切						

## 5. マーケットリサーチの協議状況（2）

### 【S財団との連携に向けた取組経緯】

- エコプロ2019において、維持管理に関わる担い手不足や維持管理活動及びイベント等の実施に係る活動資金の獲得に向けて、協議会より連携を打診しました。
- 2020年、2021年にかけて、事務局長及び担当者と協議、現地視察を行い、S財団が流域の加盟店等とともに維持管理にたずさわるエリアを「埼玉Sの森(仮)」とする協定締結に向けた検討を進めています。  
 ※「埼玉Sの森」は、S財団が維持管理にたずさわるエリアを指す通称であり、「太郎右衛門自然再生地・中池」という地区名は変わりません。また、このエリアにおいて、協議会と他団体・企業との連携・協働は、引き続き可能です。
- この協定は長ければ10年にわたるものとなるため、S財団としても、慎重に締結の有無について審議を進めています。また、当初は、現地での維持管理活動を基本とする考え方での支援を想定していましたが、地元還元できる取組の支援を積極的に行いたいという意向が加わり、地元自治体（川島町）が協定に入ることが必須となりました。そのため、川島町との調整、また、協議会委員である他自治体（上尾市、桶川市）との調整など、追加の作業が発生したため協定締結までに時間が要しています。

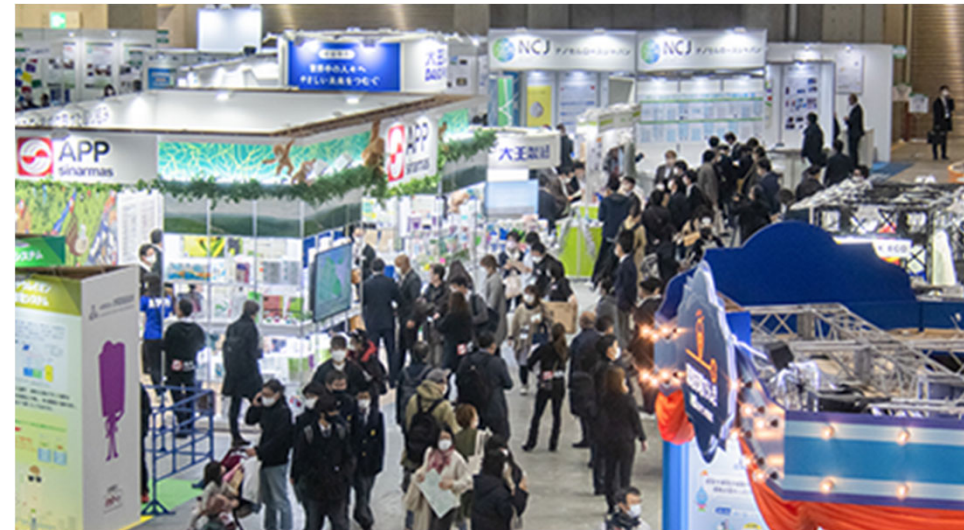
日時	対応者	協議結果
4月21日(木)	委員長、事務局	<p>「埼玉Sの森」事業に係る連携に関する4者協定について、活動を行うエリアの川島町とS財団と協議を実施。結果は以下の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「埼玉Sの森」に関する協定の期間は、まずは3ケ年、令和7年3月31日までとする。期限が近づいたら、更新について検討する。</li> <li>・川島町内に位置する中池に活動エリアを設定していることが具体的にわかる図面を添付し、川島町が単独で協定に名を連ねる整理が明確になっている。この資料をもって町長及び副町長に最終確認をい、町長の確認がとれたのちに、上尾市、桶川市に再度念のため意向を確認を行う。</li> <li>・両市の上り承が得られたら、協定締結に向けた具体の進め方について改めて相談する。</li> </ul>



## 6. エコプロ2022への参加に向けた対応方針

### 【対応方針】

- 毎年エコプロに参加し、これまでに様々な連携・協働先を発掘してきました。今年も12月7日～9日に東京ビッグサイトで開催が予定されていることから、新たな連携・協働先の獲得にあたって重要なイベントと位置づけられるため、参加を予定しています。
  - 参加にあたって、協議会として連携・協働先広報に求める視点を整理しました。
- 認知度拡大のための情報発信
  - 維持管理活動に関わる担い手の確保
  - 自然再生に資する荒川の草花の育苗の担い手の確保
  - モニタリングや調査を実施する担い手の確保
  - 維持管理活動やイベント等の実施に関わる資金の獲得



写真等：エコプロ2022ホームページより

